



森元 清蔵 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## 庁舎増築、グラウンドゴルフ場整備は検討不十分



**問** 庁舎増築は総合計画の位置づけもなく、急に補正予算として出された根拠は。

**答** (副市長) こども家庭センターは令和6年度中の設置が努力義務となっています。センターでは、こども園担当を含めて、妊娠から出産、入園、子育てまで、必要な情報やサービスをワンストップで利用者に提供する必要性を感じ、庁舎増築を計画しました。

**問** 議会には全く知らされず急に提案され、概算事業費35億円の財源内訳額が書かれていないのはなぜか。

**答** (副市長) 財源については、こども家庭センターは、国庫補助金がある程度交付されていると思っています。大半は起債対象で県とも協議を進めています。残りは一般財源です。

**問** なぜ急に実施設計の補正予算なのか。

**答** (副市長) 今回、実施設計を行い令和6年の着工までに具体的な金額を算出し、財源内訳、起債の償還計画を示します。

**問** 未来型児童館の構想で福祉会館増築案も出ていたが、そこにこども家庭センターをつくるという議論はされたのか。

**答** (副市長) こども家庭センターを所管するのは福祉部ですが、福祉会館に健康課があり、本庁舎に地域福祉課があります。本庁舎の近くに統合することが一番望ましいと考えました。

**問** グラウンドゴルフ場整備について、なぜ急に北部公民館予定地に造る話になったのか。

**答** グラウンドゴルフ場の需要が多く、以前からグラウンドゴルフ協会等から要望がありました。また、北部エリアにはこのような施設がないため、この場所を選定しました。

**問** 学校の在り方が決まってから、空き校舎の使い方、北部公民館をどうするか議論の中で、グラウンドゴルフ場をどうするかを検討するのが順番ではないか。先にグラウンドゴルフ場を造るのは急すぎる。

**答** 学校施設の統廃合により空き校舎が出た場合は、予定地に北部公民館を建てるよりも、空き校舎の大きな施設を活用するほうが有益ではないかとも考えています。



下江 一将 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## 子育て世代向けの短時間ワークシェアリングの可能性について



**問** 子育て世代から「子育ての合間に少し働きたい」、「常に親でいることのプレッシャーから解放されるために働きたい」という声を聞いている。担当課はどのような声を捉えているか。

**答** 子育て世代を含め、仕事と生活のバランスを取りながら働き続けることができる雇用環境を創出する必要があると考えています。多様な働き方を求める子育て世代からは、ワークライフバランスを実現する柔軟で自由度の高い勤務体系を求める声、短時間正社員制度などの安定した雇用を

求める声、子育て女性への再就職の支援を求める声、子育て世帯への負担軽減を求める声などを伺っています。

**問** 臨時的、短期的な就業の担い手や高齢者の担い手が減っている課題に対して、子育て世代が短時間でも働きたい声を生かすことで、課題の解決につなげられないか。その実現の可能性は。

**答** コロナ禍により普及したICTを活用するテレワークは、オフィス以外の場所で、時間や場所にとらわれずに働ける勤務形態です。加西市では、テレワークによる仕事を希望される方に提携する事業者から業務に必要なスキルのトレーニングや仕事の紹介を行うマッチングサービスを検討しています。テレワークを活用し、市

内の在宅ワーカーへの仕事を供給することで経済的な安定と新しい働き方の創出を目指しています。

**問** スマートフォンの使い方講座など、行政で行われているテレワーク以外の仕事も若い世代に依頼できないか。

**答** 隙間時間でも働けるようにするのはよいことだと思いますが、マッチングするシステムづくりに問題があると考えています。市主導で実行するのは難しいですが、ご協力いただける事業者はないか検討します。

### ■その他の質問項目

- ・SDGsの取組について
- ・小中学校の再編に関する取組について